

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-000-81-2	2024通年	医学教育部(20010)	1, 2, 3, 4	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
医療情報・倫理学理論(2022年度以前入学者用)【Medical Informatics and Medical Ethics(A1 生命倫理・研究倫理、救急医学・災害医学、医療情報の取り扱いに習熟する。)】			門岡 康弘, 笠岡 俊志, 中村 太志, 宇宿 功市郎		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力……25% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力……25% 3.グローバルな視野と行動力……25% 4.地域社会を牽引するリーダー力……25%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	e-Learning、双方向性授業、Power point、Moodleを利用した授業を行う。論文精読も予定している。CITI教材は、e-Learningでの学修を行う。この仕組みの利用方法は、第1回目の講義で説明を行う。				
授業の目的	医学の進歩を実際の診療現場に生かすために医療を行うわけであるが、医療現場において発生する情報を適切に取り扱うとともに総合的な視野で病める人々を治療支援し、生命倫理に根ざした行動をすることで初めてその目的が達成される。この医療情報・倫理学理論では、医療における情報を正しく利用し、倫理規範にそった治療・研究の実践を行い、患者に総合的に的確な対処ができるようになるために、医療現場での情報の種類、個人情報保護を含めた情報の取り扱い方、生命の誕生から死に至るまでの倫理課題を解決する端緒を獲得することを目標とする。また、全人的アプローチが求められる救命救急医療に関する基礎知識の獲得を目指す。				
学修目標	【A水準】 生命倫理・研究倫理、救急医学・災害医学、医療情報の取り扱いに習熟するとともに、自身で実践できるようになる。 【C水準】 生命倫理・研究倫理、救急医学・災害医学、医療情報の取り扱いに習熟するとともに、要点を説明ができるようになる。				
授業の概要	生命倫理については、「Collaborative Institutional Training Initiative (CITI) Japan プロジェクト」の教材を利用して学修する。この中の責任ある研究行為：基盤編 1.責任ある研究行為について、2.科学分野のミスコンダクト、3.データの扱い、4.盗用、5.利益相反、6.オーサーシップ、7.ピア・レビュー、8.共同研究のルール、9.メンタリング、10.公的研究資金の取り扱い、などを学修する。加えて研究倫理の強化授業を行う。 医療情報医学では、個人情報保護の視点も踏まえた診療録の取り扱い方、情報を電子化して利用する際の情報リテラシー・情報倫理、電子カルテの利点と問題点、医療制度、DPCについても学ぶ。また、CITI教材で、人を対象とした研究：基盤編 5.研究で生じる集団の被害、8.カルテ等の診療記録を用いた研究を学修する。 救急医学および災害医学では、「医の原点」と言われる救急医療のシステムや災害時の医療対応、生命倫理とも関わり深い心停止後症候群への対応などについて学ぶとともに、災害時の基本事項について講義する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		門岡 康弘 【eEJ-0】 オリエンテーション、eAPRIN	科目の説明、責任ある研究行為について/研究における不正行為		
2		eAPRIN 【eEJ-0】	データの扱い/共同研究のルール/利益相反		
3		eAPRIN 【eEJ-0】	オーサーシップ/盗用(生命医科学系)/社会への情報発信		
4		eAPRIN 【eEJ-0】	ピア・レビュー(生命医科学系)/メンタリング/公的研究費の取り扱い		
5		eAPRIN 【eEJ-0】	生命倫理学の歴史と原則、そしてルール作りへ/研究倫理審査委員会による審査/研究における個人に関わる情報の取り扱い		
6		eAPRIN 【eEJ-0】	人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究/研究で生じる集団の被害/研究におけるインフォームド・コンセント		
7		eAPRIN 【eEJ-0】	特別な配慮を要する研究対象者/カルテ等の診療記録を用いた研究/生命医科学研究者のための社会科学・行動科学		
8		eAPRIN 【eEJ-0】	国際研究/多能性幹細胞研究の倫理Ⅰ/多能性幹細胞研究の倫理Ⅱ		
9		eAPRIN 【eEJ-0】	人を対象とした研究ダイジェスト/単元1:動物実験の基礎知識/単元2:動物実験の実施にあたり配慮すべきこと		
10		中村 太志, 宇宿 功市郎 【eEJ-0】	日本と世界の医療制度		
11		中村 太志, 宇宿 功市郎 【eEJ-0】	求められる電子カルテ、臨床研究とデータウェアハウス		
12		笠岡 俊志 【eE-0】 【eEJ-0】	救急医療体制、心停止後症候群		
13		笠岡 俊志 【eE-0】 【eEJ-0】	災害医療、トリアージ		
14		門岡 康弘 【eE-0】 【eEJ-0】	研究倫理の強化授業1		
15		門岡 康弘 【eE-0】 【eEJ-0】	研究倫理の強化授業2		
授業外学修時間の目安	本科目は、90時間の学修が必要な内容で、授業は30時間分であり、60時間分相当の課題等での事前・事後学修が、授業の理解を深めるために必要である。				
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめた資料をmoodleにて配布する。				
参考文献	講義の中で適宜紹介する。				
履修条件	特に設けない。				
評価方法・基準	講義への取り組み、講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度、E-Learningの受講状況などをあわせて総合的に評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業(日本語および英語)				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト(指定しない)				
実務経験を活かした授業	該当(臨床研究倫理、救急災害医学対応、病院情報システム導入・運用・管理ならびに個人情報保護に精通した教員が担当分野の講義を行う。)				